

科目コード	45915010		学期・曜日・時限		
授業科目名	Presentation Method				
Course Title	Presentation Method		単位数	1	条件 選択
対象年次	全専攻, 全学年		授業形式	講義, 演習	時間数 15
【担当教員名】		【所属名】		【学内室番号】	
Ewa GRAVE		非常勤講師		off campus 2316	
オフィスアワー	曜日・時間	Contact me by WebClass email.			
	場所	Contact me by WebClass email.			
授業の目的・概要	This class will enable students to improve their explanation skills and public speaking abilities. Students will learn how to discuss, explain and present their ideas in English in a professional and efficient manner.				
到達目標	By the end of the course, students will be able to: * Organize content effectively for presentation * Design effective slides * Use strategies for confident presentation				
コース(プログラム)の学習・教育到達目標との関係	Master students participate in conferences and present their research results. This class is designed to assist them in becoming more confident presenters in English.				
カリキュラム上の位置付け					

授業の進行予定と進め方				授業時間外の学習内容等
Course contents: 1. Introducing yourself and the topic, Structuring presentation 2. Body language, Tips on presenting to English-speaking audience, Emphasizing important points 3. Describing experiment. Presenting results 4. Presentation I 5. Types of visuals. Describing Graphs. Interpreting visuals 6. Concluding the presentation. Making recommendations 7. Handling the question and answer session. 8. Presentation II  Homework will include: * Presentation preparation & assorted tasks assigned by your teacher on WebClass				講義の中で適宜指示する。
授業に関連するキーワード	Presentation	Technical English	Speaking	Power Point
成績評価の方法と基準	2 presentations, each worth 40% and 50% respectively. WebClass assignments - 10%			
教科書・参考書等	書籍名, 著者, 出版社等			ISBN
	no textbook			
メッセージ				
備考				

科目コード	45915011		学期・曜日・時限			
授業科目名	理工学英語					
Course Title	Science and Engineering English		単位数	1	条件	選択
対象年次	1年次		授業形式	演習	時間数	15
【担当教員名】		【所属名】		【学内室番号】		【電話番号】
Ewa Grave		非常勤講師		off campus		2316
オフィスアワー	曜日・時間	WebClassメールを使用して私に連絡してください				
	場所	WebClassメールを使用して私に連絡してください				
授業の目的・概要	このコースのこのコースの目的は、学生が専門用語に精通し、科学分野で理解している短いテキストを読み、英語で書き、結論を出すことです。					
到達目標	このコースを終了するまでに、学生は次のことができるようになります。 1. 科学技術に関連する短いテキストを理解する 2. 読み物から情報を抽出する 3. ディスカッションのトピックについて意見を述べます 4. トピックに複数の段落を書く					
コース(プログラム)の学習・教育到達目標との関係						
カリキュラム上の位置付け						

授業の進行予定と進め方				授業時間外の学習内容等	
Week 1. Introduction and guidance. Week 2. Use and Abuse of Natural Resources Week 3. Exploding Sales of Bottled Water - Report I Week 4 - 5. The Aral Sea - an Environmental Disaster - Report II Week 6 - 7. Water Politics Week 8. Report III due				生徒はクラス外での読書や課題についていくことが期待されています。	
授業に関連するキーワード	Engineering English	Reading	Writing	Report	
成績評価の方法と基準	30%、30%、40%の価値がある3つのレポート				
教科書・参考書等	書籍名, 著者, 出版社等				ISBN
	なし				
メッセージ	WebClassをよく理解してください。教科書を買う必要はありません。必要な資料はWebClassに掲載されます。				
備考					

科目コード	45915009		学期・曜日・時限		
授業科目名	Talking about Science in English				
Course Title	Talking about Science in English		単位数	1	条件 選択科目
対象年次	1		授業形式	演習	時間数 16
【担当教員名】		【所属名】		【学内室番号】	
Eamon Watters		非常勤講師		-	
オフィスアワー	曜日・時間	-			
	場所	-			
授業の目的・概要	アクティブ ラーニング コースです。このコースでは、科学技術に関連するトピックについて話し合ったり、学んだりするために、すでに知っている英語 をどのように使うかについて学習します。コース提供教材講師				
到達目標	コース終了時には、自分のコースに関連するトピックについて英語で読んだり、話し 合し合うことが容易になります。また、英語での意見交換、会話に関する簡単なサマリーを書くことが 容易になります。				
コース(プログラム)の学習・教育到達目標との関係					
カリキュラム上の位置付け					

授業の進行予定と進め方				授業時間外の学習内容等
重要：このコースはオンラインで行われます。受講者は、WebClassに電子メールを登録し、定期的にWebClassをチェックして、授業の更新を確認する必要があります。				宿題があります。
1-2 Course Orientation, Topic 1				
3-4 Topic 2				
5-6 Topic 3				
7-8 Final Homework Preparation and Discussion				
授業に関連するキーワード	Engineering and Science	Active Learning	Speaking skills	Discussion
	Critical Thinking	Four Skills		
成績評価の方法と基準	トピックプレパレーションシートとディスカッション 60 最終宿題 40			
教科書・参考書等	書籍名, 著者, 出版社等			ISBN
	教科書なし、教材は講師が用意する			
メッセージ	授業への出席と参加が重要です。			
備考	間違えることを心配しないでください。間違えることは学ぶことの一部分です。			

科目コード	45915008		学期・曜日・時限		
授業科目名	Current Topics in Science and Engineering				
Course Title	Current Topics in Science and Engineering		単位数	1	条件 選択
対象年次	全専攻, 全学年		授業形式	講義, 演習	時間数 15
【担当教員名】		【所属名】		【学内室番号】	
Ewa GRAVE		非常勤講師		off campus 2316	
オフィスアワー	曜日・時間	Contact me by WebClass email.			
	場所	Contact me by WebClass email.			
授業の目的・概要	This class will enable students to expand their interests through perusing articles on current trends in science and technology.				
到達目標	By the end of the course, students will be able to: <ul style="list-style-type: none"> <li>• discern current trends in science and technology,</li> <li>• present them in an appealing way</li> <li>• lead a follow-up discussion</li> </ul>				
コース(プログラム)の学習・教育到達目標との関係	Master students participate in conferences and present their research results. This class is designed to assist them in becoming more confident researchers in English.				
カリキュラム上の位置付け					

授業の進行予定と進め方				授業時間外の学習内容等
Course contents: 1. Introduction 2. Topics in Life 3. Topics in Humans 4. Topics in Climate 5. Topics in Astronomy 6. Topics in Physics 7. Topics in Health and Medicine 8. Topics in Science and Society  Homework will include Presentation and Discussion preparation.				講義の中で適宜指示する。
授業に関連するキーワード	Presentation	Science and Technology	Discussion	
成績評価の方法と基準	Presentation (60%) and Discussion (40%)			
教科書・参考書等	書籍名, 著者, 出版社等			ISBN
	no textbook			
メッセージ				
備考				

科目コード	45855012		学期・曜日・時限			
授業科目名	科学技術者倫理特論					
Course Title	Advanced Study on Ethics in Scientific Research		単位数	1	条件	必修
対象年次	1年次生		授業形式	講義	時間数	15
【担当教員名】		【所属名】		【学内室番号】		【電話番号】
中村雅英		非常勤講師		2号館, P307		018-889-2727
(責)学務委員長						
オフィスアワー	曜日・時間	月曜日10:30amから				
	場所	2号館, P307				
授業の目的・概要	科学研究を実施するうえで、国際基準を満たすルール（倫理基準）を順守することは重要である。本科目では、研究実務に必要な倫理基準を身に付けることを目的とする。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究活動を自律的に健全に進めるために必要な正しい倫理意識を身に付ける。</li> <li>・研究活動上の不正行為および、その他行うべきでない不適切な行為について説明できる。</li> <li>・責任ある研究活動を行うために必要な資料保存や成果公開等に関する基本事項を説明できる。</li> <li>・科学研究において守るべき価値と社会に対する責任について説明できる。</li> </ul>					
コース(プログラム)の学習・教育到達目標との関係	理工学研究科のカリキュラムポリシーに記載されているように、倫理性を身につけることは極めて重要である。本講義はそれに直結する。					
カリキュラム上の位置付け	本講義は、その研究開発において生じる倫理問題について、事例と解決への筋道を学ぶ。本講義は、秋田大学において研究に携わる者に必修の内容を扱う。					

授業の進行予定と進め方				授業時間外の学習内容等	
この講義では、以下に示す講義だけではなく、事前に指定されたe-Learningの受講も要求している。e-Learningを受講する日時は特に指定しないが、必ず受講することが必要である。講義の内容は以下の通りである。				e-Learningは授業時間に含める。それ以外に、レポートを課すので、与えられたテーマについてよく調査すること。	
1. 研究活動上の不正行為について					
2. 探索的研究, 検証的研究, Harkingについて					
3. 学会発表とその意義について					
4. 研究費の管理と論文の作成について					
授業に関連するキーワード	研究者倫理	研究不正行為	捏造	改ざん	
	盗用	研究費管理	オーサーシップ		
成績評価の方法と基準	APRINのe-Learningプログラム受講に際し、各項目の最後のテストを受けて全て合格基準を満たすことを要件の一つとする。全ての合格により発行される受講証を印刷し、指定された期日までに提出すること。さらに、課されたレポートの結果と合わせて判定し、60点以上を合格とする。				
教科書・参考書等	書籍名, 著者, 出版社等				ISBN
	この講義では教科書は使用しません。				
メッセージ	積極的な発言を期待しています。				
備考					